

「車いす空の旅 沖縄」にボランティアとして参加

神奈川県遊技場協同組合（理事長 伊坂重憲）と神奈川福祉事業協会（会長 伊坂重憲）は、神奈川新聞厚生文化事業団が年2回行っている「車いす空の旅事業」に、平成元年から毎年300万円の支援を続けてきており、今年度については、400万円の支援をしています。今回も神遊協職員がボランティアとして参加し、障害者やご家族の思い出づくりのサポートをしました。

1. 日 時	平成26年4月10日（木）～ 12日（土）
2. 場 所	沖縄（残波岬、美ら海水族館、琉球村、他）
3. 主 催	神奈川新聞厚生文化事業団 フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会 共催
4. 参 加 者	肢体障害者18名とその家族及び看護師・ボランティアなど総勢68名

5. 概 要 神奈川新聞厚生文化事業団では、車いす生活をおくる障害者とその家族を招待し、毎年4月に沖縄、9月には北海道へと飛行機を利用して訪れています。

今回、参加者の方は、水族館ではジンベイザメの大きさに目を輝かせ、沖縄の独特な文化にも触れ、参加者の方にとっては初めての体験が多く、大変喜ばれる旅となりました。ホテルでの夕食時には、沖縄県内の障害者施設との交流として、県内を拠点に活動をしている障害者の音楽グループ「ケントミファミリー」によるコンサートを体験し、参加者の方は、歌に涙したり、一緒に歌い踊って演奏を楽しんでいました。

これらのことは、私たち健常者にとっては容易なことかもしれませんが、障害者の方にとっては困難なことがたくさんあります。ひと時の安らぎの時間ではありますが、この思い出づくりのサポートを続けてまいります。

なお、この「車いす空の旅」については、4月11日付及び4月14日付神奈川新聞にそれぞれ掲載され、5月5日には、神奈川新聞紙特集記事として掲載されました。



※ この活動は、第4回（平成20年度）社会貢献団体機構の組合部門優秀賞を受賞しております。

http://ajosc.org/honoring/2008_02.html#3

※ 神奈川新聞厚生文化事業団ホームページ

<http://www.kanagawa-shimbun.jp/information/associatedcompany/kouseibunkaijigyou.html>